

## 第1回栄村むらづくり懇話会

### —生活基盤部会—

#### 【国県村道】

- ・ インフラの整備ができるのか、いつになるのかといった話は毎年のように出るが、こうした県道は我々が生きているうちにできるのか。
- ・ 各地区・集落からの要望書は出ているのか。それぞれ利便の恩恵を受ける地域などの強い願い・要望が出ているのであれば、それをつけ加えたほうがいいのではないか。

#### 【公共交通】

- ・ 栄村に限る話ではないが、高齢者の運転手が非常に多い。これを、年齢によっては返納してもらおうということを考えてもらう必要があるのではないか。返納してもらうためには、交通手段の確保が必要になる。デマンドバスでもよいが、そのあたりを含んで公共交通網の整備を考えてもらいたい。
- ・ 高齢者の多くは交通手段が無いから車を利用する。デマンドバスが難しいのであれば、津南町のように、行政職員が地域ごとに足を出せばいいのではないか。毎日だけでなく隔週など、そのあたりを考えてもいいと思う。
- ・ デマンドバスが難しいのは、高齢者が直接連絡をしなければならないということがあげられる。そう言った手間から、高齢者は自家用車を利用してしまっているのではないか。
- ・ タクシーの補助も一つ。予算・経費のかかることだが、高齢者の事故を防ぐためにも考えてもらいたい。他県では、交通事故の半数は高齢者によるものであり、事故を未然に防ぐというためにも検討してもらいたい。
- ・ 免許証を返納してほしいというのは家族でも言いにくいことなので、一つの課題として考えてもらいたい。

#### 【道路除雪】

- ・ 役場の体制が良い・悪いは別として、役場職員が午前には雪かきをした場合、午後には出ない体制になっているようだが、午後にも多く降った場合は通勤・通学に支障が出てしまう。そういった体制も見直してもらいたい。
- ・ 仕事もあるので、常にお願ひしたいというわけではないが、少なくとも、朝と夕方はやってもらいたい。

#### 【情報通信】

- ・ 秋山の林道のように、一部ではまだ電波が通じないところもある。生活に支障は無いが、災害時のことを考えると整備したほうが望ましい。民家の無い地域は、そういった意味で整備が必要。

#### 【上水道】

- ・ 以前、冬場に水道管が壊れて水が使えなくなることがあったが、最近はどうか。地震のときは使えない状況にあったが。  
→配管も新しくしているので、最近ではそういったトラブルは減ってきている。

#### 【下水道】

- ・ 浄化槽の整備率はどの程度進んでいるのか。費用もかかることであるし、高齢者の中では不要と感じている人もいると思うが。  
→76.3%

#### 【環境衛生】 43.59

(この項目は、自然環境・生活環境が入っているため、範囲が広く漠然としている)

- ・ 広域の関係で、廃棄物を出してはいけないという時代も来るのだろうか。
- ・ 分別について、飯山市は新聞紙にくるんだごみも出せないと聞く。そういった意味では栄村は楽である。
- ・ コンポストはもっと活用できないのか。確か補助金も出たと思うが。  
→現在補助金はない。コンポストは冬がネックとなっている。

#### 【消防・防災・交通安全・防犯】

- ・ 消防の「諸行事の見直し」とは何か。  
→例年ここに記載されていることだが、行事の制度や、災害に対してより実践的な訓練ということがここに記載されていると思われる。
- ・ 箕作の堤防については県の対応かと思うが、早めの対応をしなければならないのではないか。
- ・ 堤防については計画に含まれているか。  
→来月5日に話をする予定。県計画では、箕作で800m。昔から運動している問題で、県にも国にも働きかけは行っている。
- ・ 「交通安全施設の整備」とは何を指しているのか。  
→ガードレール・ガードケーブル等、自動車を想定した安全施設。

#### 【雪対策】

- ・ 雪対策というのは、道路と救助員など部分的に表記を分けているのか。
- ・ 根本的なところで人手不足があり、救助員が確保できないということや、地域の助け合いが難しいというなかで、これは対策となるのかという想いがある。ここでいう総合的にというのは何を指しているのか。  
→ここではソフト面を指していると思う。ご指摘のように、それが総合的にといえるかと思うが。

- ・ 克雪資金については、この項目に記載されることなのか。  
→対象の項目となる。

#### 【住宅対策】

- ・ 住宅・空き家の斡旋というのは、田畑も含めての斡旋という形なのか、それとも家だけなのか。せつかく人に来てもらうのであれば、畑などもセットにできないのか。
- ・ 土地付きの住宅を借りてもらうというのも一つの方法だと思う。  
→既にやっけてはいるものの、畑となる土地は基本的に家から離れている。それがネックとなっている。

#### 【自然保護と景観】

- ・ 苗場山はわかるが、野々海高原には力を入れているのか。かつてはキャンプなどによく利用していたが。
- ・ キャンプ場について、トイレがあるか無いかといえばある。しかし、とてもではないが利用できるものではない。他にも、椅子やベンチなどをみても、これを使って「自然と慣れ親しんで」といっても、無理がある問題といえる。
- ・ キャンプ場についていうと、水が出て電気も通っている。しかし、線引きが中途半端である。本当に景観を大事にするのであれば、簡易トイレを持ってこさせるなど徹底しないと自然の保全などできない。徹底的なインフラを整えるのであれば、トイレ利用料をとって設置するなど、しっかりとしたものを造る必要があると思う。
- ・ 景観条例など大きなものを制限するというのではない。
- ・ 自然を楽しみに来た人に残念な思いをさせないようにするためにも、ごみを出さない・持ち込ませないなど地域一体としての保全を考える必要があるのではないか。
- ・ 建築物でいえば、工夫次第で自然に合わせて造ることができる。やるべきこととしては、地域一体とした保全ということを私たちが話していくことではないか。

以上